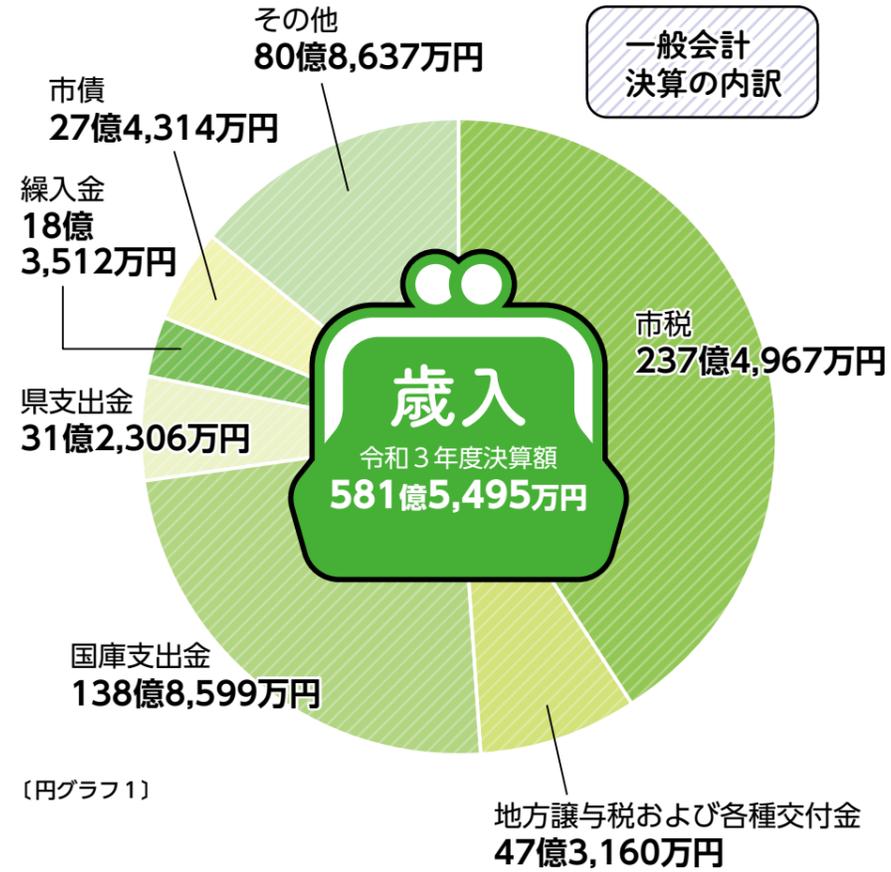


海老名市の財政状況

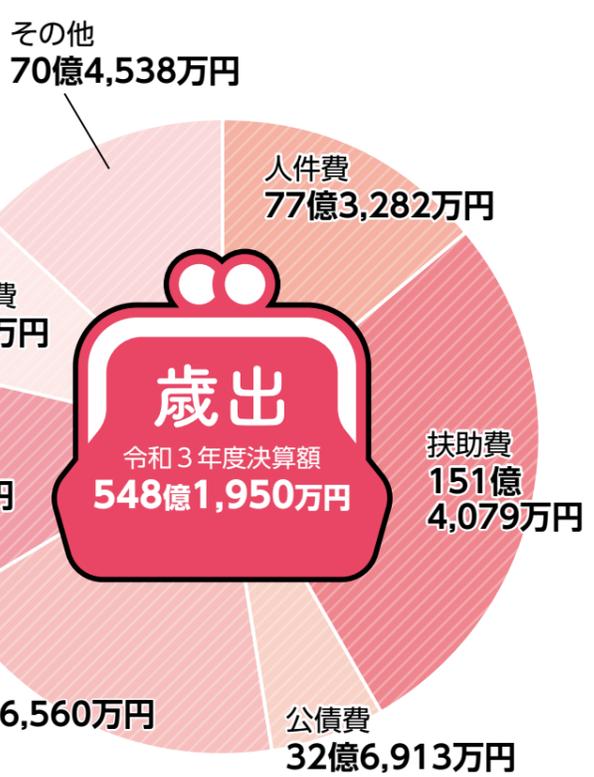
町企画財政課 ☎(235)8453

令和3年度一般会計の決算を中心に、市民の皆さんが納めた税金の使い道をお知らせします。

一般会計決算の内訳



〔円グラフ1〕



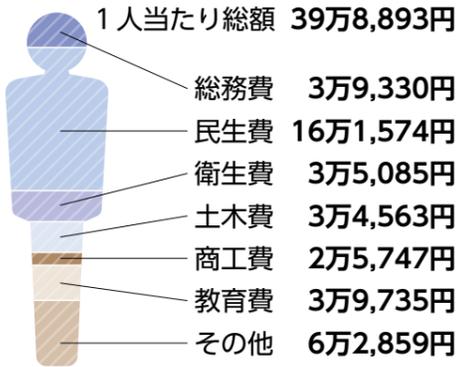
〔円グラフ2〕

※歳出決算を性質別で分類した「性質別経費」で示します。

用語説明

- 人件費…市長や市職員の給与、議員や会計年度任用職員の報酬など
- 扶助費…障がい者や高齢者への支援、生活保護費など
- 公債費…市の借金である市債の返済に充てる経費
- 物件費…消耗品、業務委託料など
- 補助費等…各種団体への補助金など
- 普通建設事業費…道路などの整備や建物の建設に関する経費

市民1人当たりの歳出決算額(目的別経費)



※歳出予算を行政目的で分類し、住民基本台帳の令和4年3月31日現在の人口13万7,429人で算出しています。

決算額

収支の管理は、「一般会計」「特別会計」と「企業会計」に分かれています。「一般会計」は基本的な行政運営の経費を賄うもの、「特別会計」は独自の収入があるもの、「企業会計」は地方公営企業法の適用により企業会計方式で事業を運営するものです。



一般会計決算の概要

会計名	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	581億5,495万2,314円	548億1,950万569円
特別会計	234億527万5,243円	230億3,216万6,066円
国民健康保険事業	122億411万928円	120億9,641万3,963円
介護保険事業	92億7,331万3,869円	90億3,540万2,402円
後期高齢者医療事業	19億2,785万446円	19億34万9,701円
企業会計	39億9,894万4,216円	46億191万5,817円
公共下水道事業	39億9,894万4,216円	46億191万5,817円
合計	855億5,917万1,773円	824億5,358万2,452円

財政状況は「健全」

自治体の財政状況は、財政健全化法に基づき算定され、国が定める基準を超えた場合、財政の健全化に取り組む必要があると判断されます。

	健全化判断比率	早期健全化基準
実質赤字比率	-(赤字なし)	12.03%
連結実質赤字比率	-(赤字なし)	17.03%
実質公債費比率	3.7%	25.0%
将来負担比率	28.7%	350.0%

公営企業会計名	資金不足比率	経営健全化基準
公共下水道事業会計	-(資金不足なし)	20.0%

歳入は581億5495万円(円グラフ1)、歳出は548億1950万円(円グラフ2)となり、歳入・歳出ともに前年度を下回りました。歳入は、新型コロナウイルス感染症の影響で法人市民税が減少したものの、海老名駅西口地区の開発の進展などにより市税収入が増加に転じました。一方、特別定額給付金事業の終了に伴い国庫支出金が減少し、全体では前年度を下回りました。歳出は、子育て世帯への臨時特別給付金の給付などにより扶助費が9年連続で増加した一方、有馬図書

館・門沢橋コミセンや消防署西分署などの大規模工事が終了し普通建設事業費が減少しました。市民1人当たりの基金・市債の残高は良好です。政令市を除く県内16市の中で基金残高は5万6364円と8番目に多く、市債の残高は企業会計分を含めて29万1644円と最も少ない金額です。実質収支は、歳入歳出決算額の差額33億3545万円のうち、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた29億835万円となりました。